

全国養護教諭連絡協議会 令和6年度 養護教諭の職務に関する調査

* 必須

以下へアクセスして、アンケートにお答えください。

メールアドレス * 回答を入力

所属研究会名を選んでください。

研究会名称 * 選択

※今年度のことについてお答えください。

【基礎調査】

問1 あなたの勤務校(園)の校種について(兼務校は含みません。)

- ☐ 幼稚園
- ☐ 小学校
- ☐ 中学校
- ☐ 義務教育学校
- ☐ 高等学校(全日制)
- ☐ 高等学校(定時制・通信制等)
- ☐ 中等教育学校
- ☐ 特別支援学校

勤務校に2つ以上の課程を併置している場合は、主に関わっている課程を選ぶ。

問2 勤務校(園)の令和6年5月1日現在の在籍数について
在籍数を半角数値で入力し、該当がない校種は「0」と入力してください。

幼稚園(部) _____
小学校(部)・義務教育学校前期課程 _____
中学校(部)・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程 _____
高等学校(部)・中等教育学校後期課程 _____

問3 あなたの勤務形態について
「その他」を選んだ場合は、その内容を記述してください。

- ☐ 常勤勤務
- ☐ 常勤以外の勤務・臨時や非常勤
- ☐ その他: _____

本調査での**常勤勤務**とは 都道府県教育委員会・市町村教育委員会・私立学校等の採用に関わらず、正規の勤務(週38時間45分、1日あたり7時間45分)で常時勤務していることとする。

問4 勤務校(園)の養護教諭等の配置状況について
「その他」を選んだ場合は、その内容を記述してください。

- ☐ 一人配置 →問5へ
- ☐ 複数配置校のため同僚が回答済 →問5へ
- ☐ 複数配置 →問4-aへ
- ☐ その他 →問5へ

本調査での**複数配置**とは、採用(都道府県教育委員会・市町村教育委員会・私立学校等の採用)や勤務形態(常勤勤務又は常勤以外の勤務)に関わらず、同一の保健室に養護教諭等が**2名以上**配置されていることとする。
(義務教育学校・中等教育学校・中高一貫校・高等学校の校名は同じでも定時制等課程が違う場合は、複数配置校としない。)

「複数配置校のため同僚が回答済」は、学校の実態把握の設問で、複数配置校での回答の重なりを防ぐために設定する。
複数配置校の会員は、事前に「複数配置」「複数配置校のため同僚が回答済」の回答者を確認する。

問4-a 複数配置の配置理由についてあてはまるものを選んでください。(1校につき1名回答)

- ☐ 義務標準法の複数配置基準に基づく加配
- ☐ その他の加配(文部科学省による心身加配・生徒指導加配、都道府県や市町村負担による独自加配等)
- ☐ その他

義務標準法とは、公立学校の「学級規模」と「教職員定数」について規定する法律で、養護教諭の複数配置の基準を次のように定めている。
文部科学省の定める義務標準法の複数配置基準
小学校851人 中学校801人 高等学校801人 特別支援学校61人

問5 あなたの年齢について(令和6年4月1日現在)

- ☐ 20歳代
- ☐ 30歳代
- ☐ 40歳代
- ☐ 50歳代
- ☐ 60歳代以上

問6 あなたの「養護教諭等」の職についてからの経験年数について

- ☐ 10年以下
- ☐ 11～20年
- ☐ 21～30年
- ☐ 31年以上

【1 日常の職務について】

問7 日常の職務において、次のようなことがありましたか。

- | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 養護教諭不在時に、病院搬送する事例があった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 2 子供の来室時、対応に十分な時間をとれない時があった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 3 行事や学級指導時の来室者への対応ができない時があった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 4 配慮を要する子供の健康管理・支援が十分にできない時があった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 5 継続的な支援を要する子供に、丁寧な対応ができない時があった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 6 健康診断の準備・実施・事後指導の時間確保が困難であった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 7 保護者や教職員との相談時間の確保が難しかった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 8 個別の保健教育の時間確保が難しかった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 9 学級等、集団への保健教育の時間確保が難しかった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 10 環境衛生活動や安全点検の時間確保が難しかった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 11 研修会・講習会への参加等、自己研鑽のための時間確保が難しかった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |
| 12 勤務時間内にその日に予定していた職務を終わらせることが難しかった | ☐ あてはまる | ☐ あてはまらない |

【2 複数配置の効果について】

問8 子供・学校（園）にとって養護教諭の複数配置による効果が特に大きいと思うことを3つ選んでください。

- ☐ 常時在室できるため、緊急時に迅速に対応できる
- ☐ 救急処置において、多面的な判断と処置ができる
- ☐ 感染症の予防や発生時の対応を迅速に行うことができる
- ☐ 子供の来室時に丁寧な対応ができる
- ☐ 心身に配慮を必要とする子供の支援を十分に行うことができる
- ☐ 継続的に支援を必要とする子供への対応を余裕をもって行うことができる
- ☐ 健康診断の準備・実施・事後指導を余裕をもって行うことができる
- ☐ 保護者や教職員との相談時間の確保が容易になる
- ☐ 教職員への啓発活動が充実する
- ☐ 個別の保健教育の時間確保が容易になる
- ☐ 集団への保健教育の実施が容易になる
- ☐ 環境衛生活動や安全点検の取組が充実する

【3 保健教育（集団を対象にした指導）の実施状況について】

問9 あなたは、保健教育（集団を対象にした指導）を実施しましたか。

（年度内に行う予定、及び TTでの実施も含む）

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| ☐ 実施した（予定がある） | →問9-aへ |
| ☐ 実施しなかった（予定がない） | →問9-eへ |

問9-a あなたが実施した（実施予定）内容を全て選んでください。

- ☐ 歯・口の健康
- ☐ 生活習慣
- ☐ けがの予防
- ☐ 病気の予防
- ☐ 心の健康
- ☐ 性に関する指導
- ☐ 薬物乱用防止教育（飲酒・喫煙含む）
- ☐ がん教育
- ☐ メディアとの関わり
- ☐ 発育・発達
- ☐ その他

問9-b あなたが実施した保健教育（集団を対象にした指導）の指導の機会を全て選んでください。

（年度内に行う予定、及び TTでの実施も含む）

- ☐ 体育科保健領域・保健体育科保健分野・保健体育科科目「保健」
- ☐ 他教科・総合的な学習の時間・特別な教科道德等での指導
- ☐ 学級活動・HR活動・児童会（生徒会）活動での指導
- ☐ 学校行事に関わる指導
- ☐ 幼稚園所属のため指導機会が異なる
- ☐ その他

問9-c 養護教諭が保健教育（集団を対象にした指導）を行うことが、学校（園）・担任・担当にとって特によいと思われることを、選んでください（複数回答可）。

- ☐ 養護教諭の専門的知識や技能を生かした指導ができる
- ☐ 子供の健康実態や生活実態を踏まえた指導ができる
- ☐ 教職員の保健教育への理解や実践への意欲が高まる契機となる
- ☐ 子供についての共通理解が深まったり、広がったりする
- ☐ 個別の保健教育と関連づけた指導ができる
- ☐ 学校（園）全体の保健教育に対する関心が高まる
- ☐ その他

問9-d 養護教諭が保健教育（集団を対象にした指導）を行うことが、子供にとって、
特によいと思われることを、選んでください（複数回答可）。

- ☐ 健康に対する関心や知識理解が深まる
- ☐ 健康課題をしっかりと捉えることができるようになる
- ☐ 健康生活の実践を積極的に行うようになる
- ☐ 養護教諭が身近な存在となり、相談するようになる
- ☐ その他

→問10へ

問9-e 保健教育（集団を対象にした指導）を実施しない理由を**全て**選んでください。

- ☐ 担任・担当から依頼がないため
- ☐ 教諭の指導が充実しているため
- ☐ 保健室を不在にすることができないため
- ☐ 校内(園内)に理解がないため
- ☐ 指導力に不安があるため
- ☐ 教材研究や準備時間が確保できないため
- ☐ その他

本調査における「ICT活用」とは、授業のための電子教材の活用
やコンピュータによる情報管理のことであり、保健管理等で使
用する校務支援システムの内容は除く。

【4 ICT活用について】

問10 ICT活用の状況について当てはまるものを選んでください。

- 1 集団を対象にした保健教育
- 2 保健教育の教材・資料の作成
- 3 保健に関する各種調査やアンケート
- 4 子供・保護者との健康相談
- 5 各種研究会・研修会の参加
- 6 校(園)内外のWEB会議
- 7 WEBを活用した保健情報の発信（HP、メール等）

- | | | |
|------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| ☐ 活用している | ☐ 今後活用したい | ☐ 活用する予定がない |
| ☐ 活用している | ☐ 今後活用したい | ☐ 活用する予定がない |
| ☐ 活用している | ☐ 今後活用したい | ☐ 活用する予定がない |
| ☐ 活用している | ☐ 今後活用したい | ☐ 活用する予定がない |
| ☐ 活用している | ☐ 今後活用したい | ☐ 活用する予定がない |
| ☐ 活用している | ☐ 今後活用したい | ☐ 活用する予定がない |

問11 現任教(園)において、ICT活用推進に必要なと思うことを全て選んでください。

「その他」を選んだ場合は、その内容を記述してください。

- ☐ 養護教諭専用PCや持ち出し可能なタブレットの整備
- ☐ 保健室のネット通信環境（Wi-Fi・有線）の整備
- ☐ ICT活用教材の提供
- ☐ 各種アプリの開発・提供
- ☐ ICT活用のための研修・実践交流
- ☐ その他：

【5 新型コロナウイルス感染症対策について】

問12 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し1年が経った現在、子供の健康に関して、コロナ禍より継続した心配はどの程度ありますか。

- | | | | | |
|----|--|----------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1 | 登校しぶりや保健室や別室登校の増加 | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 2 | 不登校の増加 | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 3 | 保健室来室者や頻回保健室来室者の増加 | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 4 | 感染症後の後遺症の影響（症状の慢性化、子供の不安増加） | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 5 | 生活習慣の悪化
（睡眠習慣の悪化、食習慣・栄養面の悪化、歯みがき習慣の悪化） | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 6 | ゲームやインターネットの過剰使用の影響
（依存、昼夜逆転、生活リズムの悪化、視力への影響） | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 7 | ゲームやインターネット使用に関わる問題の増加
（ネット上の誹謗中傷、いじめ、犯罪等） | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 8 | 感染症に関わるいじめや差別、誹謗中傷の増加 | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 9 | 家庭環境の不安定さの影響
（虐待の危険性、経済的困窮、保護者の精神的不安定さの増大） | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 10 | 肥満傾向の増加 | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 11 | やせの増加 | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 12 | 運動不足による悪影響
（体力低下、発育発達や人間関係づくりへの影響、運動に対する意欲低下） | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |
| 13 | マスク着用の影響
（表情が読み取れない影響、歯や口の衛生に関する意識低下） | ☐ 強くある | ☐ ある | ☐ ない |

その他、勤務校(園)の子供の健康に関して、「強い心配や懸念がある」ことがありましたらお書きください。

その他： _____

※昨年度(令和5年度)のことについてお答えください。

問13 令和5年度の勤務（兼務校は含みません）について

- ☐ 現任校(園)に勤務していた
- ☐ R5年度末人事異動で勤務校が変わった →問30へ
- ☐ 学校(園)に勤務していなかった (R6年度初任者・行政勤務、大学等の在籍、産前後休暇、育児休暇、傷病休暇等) →問30へ

問14 令和5年度の勤務校(園)の養護教諭の配置状況について

「その他」を選んだ場合は、その内容を記述してください。

- ☐ 一人配置
- ☐ 複数配置
- ☐ その他： _____

【6 子供からの相談について】（昨年度のことについてお答えください。）

問15 あなたは、子供から相談を受けたことがありましたか。

- ☐ あった →問15-aへ
- ☐ なかった →問16へ

問15-a 子供から相談を受けた内容を全て選んでください。

- ☐ 生活習慣
- ☐ 不定愁訴
- ☐ 人間関係に関すること
- ☐ 登校しぶり・保健室登校・相談室登校等
- ☐ いじめ
- ☐ 自傷行為・自虐行為
- ☐ 命と自殺防止に関すること
- ☐ メンタルヘルス（神経症傾向、抑うつ傾向、統合失調症等精神疾患等）
- ☐ 急性ストレス障害・PTSD
- ☐ 過換気症候群
- ☐ 起立性調節障害(OD)
- ☐ 摂食障害
- ☐ 性の多様性
- ☐ 性に関する問題
- ☐ 発達に関すること
- ☐ 身体の健康に関すること（アレルギーを含む）
- ☐ 喫煙・飲酒・薬物乱用に関すること
- ☐ 虐待に関すること
- ☐ インターネット等メディアに関すること
- ☐ 家庭又は家族に関すること（貧困、ヤングケアラーについてを含む）
- ☐ 担任等、教職員との関係に関すること
- ☐ その他

【7 保護者からの相談について】（昨年度のことについてお答えください。）

問16 あなたは、保護者から相談を受けたことがありましたか。

- ☐ あった →問16-aへ
- ☐ なかった →問17へ

問16-a 保護者から相談を受けた内容を全て選んでください。

- ☐ 子供の心身の健康に関すること
- ☐ 子供の発達に関すること
- ☐ 子供の登校しぶり・不登校・保健室登校・相談室等の別室登校に関すること
- ☐ 子供と担任等、教職員との関係に関すること
- ☐ 子供と友人・部活動や学校(園)生活に関すること
- ☐ 子供の進路に関すること
- ☐ 子供と家族との関係に関すること
- ☐ 保護者自身に関すること
- ☐ その他

【8 教職員からの相談について】（昨年度のことについてお答えください。）

問17 あなたは、教職員から相談を受けたことがありましたか。

- ☐ あった →問17-aへ
- ☐ なかった →問18

問17-a 教職員から相談を受けた内容を全て選んでください。

- ☐ 子供の心身の健康に関すること
- ☐ 子供の発達に関すること
- ☐ 子供の登校しぶり・不登校・保健室登校・相談室等の別室登校に関すること
- ☐ 保護者への対応について
- ☐ 保健教育に関する資料・教材について
- ☐ 教職員自身、職場・家族等に関すること
- ☐ その他

【9 保健室登校、相談室等の別室登校について】（昨年度のことについてお答えください。）

問18 勤務は幼稚園ですか。

- ☐ はい →問21へ
☐ いいえ →問19へ

問19 勤務校には養護教諭が関わった保健室登校、相談室等の別室登校の事例がありましたか。

本調査での「保健室登校、相談室等の別室登校」とは、期間の長短を問わず、常時保健室（相談室等の別室）にいるか、特定の授業に出席できても、学校にいる間は主として保健室（相談室等の別室）にいる状態とする。

- ☐ 複数配置校のため、同僚が回答済 →問20へ
☐ あった →問19-aへ
☐ なかった →問21へ

問19-a 養護教諭が関わった保健室登校、相談室等の別室登校の子供の実人数を半角英数で入力ください。

人

問19-b 養護教諭が関わった保健室登校、相談室等の別室登校の事例の中で、関わった最長の期間はおよそどのくらいですか。

- ☐ 約1週間以内
☐ 約1か月以内
☐ 約3か月以内
☐ 約6か月以内
☐ 約1年間

問20 あなたは保健室登校、相談室等の別室登校の子供に関わったことがありますか。

- ☐ あった →問20-aへ
☐ なかった →問21へ

問20-a あなたが関わった内容を全て選んでください。

- ☐ 子供への健康相談
☐ 子供への保健教育
☐ 子供への学習支援
☐ 保護者への対応
☐ 学級や部活動等の子供との連絡・調整
☐ 学級担任や部活動顧問等の教職員との連絡・調整・相談
☐ 校内(園内)支援体制づくり
☐ スクールカウンセラーとの連携
☐ 関係機関との連携
☐ 保健室・相談室等の環境整備
☐ その他

【10 「虐待」(疑いを含む)について】（昨年度のことについてお答えください。）

問21 勤務校(園)には養護教諭が関わった虐待(疑いを含む)の事例がありましたか。

- ☐ 複数配置校のため、同僚が回答済 →問22へ
☐ あった →問21-aへ
☐ なかった →問23へ

問21-a 養護教諭が関わった虐待(疑いを含む)の事例の内容を全て選んでください。

- ☐ 身体的虐待
☐ ネグレクト(怠慢または拒否)
☐ 心理的虐待
☐ 性的虐待

問22 あなたは虐待(疑いを含む)に関係する子供に関わったことがありますか。

- ☐ あった →問22-aへ
☐ なかった →問23へ

問22-a あなたがそれらの虐待(疑いを含む)に対し、関わったきっかけを全て選んでください。

- ☐ 身体計測・健康診断
☐ 救急処置
☐ 頻回来室
☐ 来室時の問診
☐ 身体や行動の観察
☐ 健康相談
☐ 教職員からの相談
☐ アンケート調査等の学校(園)の取組
☐ 本人の訴え
☐ 他の子供からの相談
☐ 地域・児童相談所等からの連絡
☐ その他

問22-b あなたがそれらの虐待(疑いも含む)に対し、関わった内容を全て選んでください。

- ☐ 虐待を受けた子供からの情報収集を行った
- ☐ 虐待を受けた子供の心のケアを行った
- ☐ 虐待を受けた子供の経過観察を行った
- ☐ 虐待の情報提供を行った
- ☐ 校内(園内)体制づくりに関与した
- ☐ 関係機関との連絡・調整にあたった
- ☐ 教職員からの相談を受けた
- ☐ 保護者からの相談や情報の聞き取りがあった
- ☐ その他

【11 「いじめ」(疑いを含む)について】(昨年度のことについてお答えください。)

問23 勤務校(園)には養護教諭が関わったいじめ(疑いを含む)の事例がありましたか。

- ☐ 複数配置校のため、同僚が回答済 →問24へ
- ☐ あった →問23-aへ
- ☐ なかった →問25へ

問23-a 養護教諭が関わったいじめ(疑いを含む)の事例の内容を全て選んでください。

- ☐ ひやかしやからかい、悪口や脅かし文句、嫌なことを言われる
- ☐ 仲間はずれや集団による無視をされる
- ☐ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする
- ☐ ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする
- ☐ 金品を要求される
- ☐ 金品をかくされたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
- ☐ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- ☐ SNS等で誹謗中傷や嫌なことをされる
- ☐ その他

問24 あなたはいじめ(疑いを含む)に関係する児童生徒に関わったことがありましたか。

- ☐ あった →問24-aへ
- ☐ なかった →問25

問24-a あなたがそれらのいじめ(疑いを含む)に関わったきっかけを全て選んでください。

- ☐ 身体計測・健康診断
- ☐ 救急処置
- ☐ 頻回来室
- ☐ 来室時の問診
- ☐ 身体や行動の観察
- ☐ 健康相談
- ☐ 教職員からの相談
- ☐ スクールカウンセラー等の相談員からの情報
- ☐ アンケート調査等の学校(園)の取組
- ☐ 本人の訴え
- ☐ 他の子供からの相談
- ☐ 保護者・地域等からの連絡
- ☐ その他

問24-b あなたがそれらのいじめ(疑いも含む)に対し、関わった内容を全て選んでください。

- ☐ いじめを受けた子供に関わった
- ☐ いじめをした子供に関わった
- ☐ 当事者以外の子供に関わった
- ☐ 保護者への対応をした
- ☐ 教職員と相談した
- ☐ 校内(園内)体制づくりに関与した
- ☐ いじめ防止教育に関わった
- ☐ その他

【12 特別支援教育について】(昨年度のことについてお答えください。)

問25 勤務は特別支援学校ですか。

- ☐ はい →問28へ
- ☐ いいえ →問26へ

問26 勤務校(園)には特別支援学級への在籍の有無にかかわらず、医師や専門家の診断(疑いを含む)や校内(園内)の実態把握によって特別な支援を必要とした子供はいましたか。

- ☐ 複数配置校のため、同僚が回答済 →問27へ
- ☐ いた →問27へ
- ☐ いなかった →問28へ

問27 あなたは特別支援学級への在籍の有無にかかわらず、医師や専門家の診断(疑いを含む)や校内(園内)の実態把握によって特別な支援を必要とした子供に関わったことがありましたか。

- ☐ あった →問27-aへ
☐ なかった →問28へ

問27-a あなたがそれらの子供に対し、関わった内容を全て選んでください。

- ☐ 特別支援コーディネーターとして
☐ 校内(園内)の支援チームの一員として(医療的ケアのサポート等も含む)
☐ 早期発見と情報の提供
☐ 日常の観察と記録
☐ 問題行動(パニック等)を起こした時の対応
☐ 担任や教職員からの相談への対応
☐ 保護者からの相談への対応
☐ 他の子供への対応
☐ 関係機関との連絡・調整
☐ その他

【13 食物アレルギーに対する取組について】(昨年度のことについてお答えください。)

問28 あなたは食物アレルギーのある子供に関わったことがありましたか。

- ☐ あった →問28-aへ
☐ なかった →問29へ

問28-a 食物アレルギーのある子供に対し、関わった内容を全て選んでください。

- ☐ 食物アレルギーの把握・管理・共通理解(保健調査・学校生活管理指導表等)
☐ アドレナリン自己注射薬や内服薬等の管理
☐ 食物アレルギーに関する研修会の企画・運営
☐ 校内(園内)体制(緊急時の体制)づくり、整備、周知等に関与
☐ 保護者との面談
☐ 学校医等、主治医、関係機関(医療機関、給食センター、消防署等)との連携
☐ 他の子供や保護者への対応
☐ 学校(園)給食・宿泊行事に伴う食事管理
☐ その他

問29 勤務校(園)にはアドレナリン自己注射薬を処方されている子供はいましたか。

- ☐ 複数配置校のため、同僚が回答済
☐ いた
☐ いなかった

【備考】

問30 調査回答に補足等がありましたら、以下に記述してください。

備考

これで全てのアンケートは終了です。

ご協力ありがとうございました。

最後に「送信」ボタンを押して、回答内容を送信してください。